

2022年度版

学位申請の手引

(博士前期課程)

筑波大学

人間総合科学学術院

人間総合科学研究群

情報学学位プログラム

2022年4月

情報学学位プログラム博士前期課程修了者にかかる学位論文審査日程

2022年9月修了	2023年3月修了	事項	審議 会議	審 査 委員会	提出物等
2021年12月7日(火)	2022年7月20日(水)	学位論文中間発表 会			プログラムは1週間前頃に周知予定。 現地開催の場合、社会人特別選抜で入学した学生は発表場所として春日または東京のいずれかを選択可。
2022年4月25日(月)9:00- 2022年4月27日(水)17:00	2022年11月21日(月)9:00- 2022年11月25日(金)17:00	学位論文題目届の PDF等をmanabaに提出			【manabaに学位論文題目届のPDFを提出】 ・押印をしたうえで、スキャンしてデータを取り込み、PDFをmanabaに提出 ・題目は、論文本体の言語に合わせること 【manabaに学位論文題目を登録】 ・登録する題目は、題目届と完全に一致させる
2022年6月1日(水)9:00- 2022年6月7日(火)12:00	2022年12月20日(火)9:00- 2022年12月26日(月)12:00	学位論文のPDF等を manabaに提出			【manabaにPDFを提出】 ①学位論文審査願 ②学位論文 ③学位論文概要 ④論文目録 ⑤履歴書 ⑥論文公正に関する確認書 ⑦倫理審査に関する報告書 ⑧学位論文の電子図書館システム(つくばリポジトリ)登録書 ・①、④は押印を、⑤、⑥、⑦、⑧は署名をしたうえでスキャンしてデータを取り込み、PDFにする 【manabaに学位論文題目を登録】 ・先に登録した学位論文題目を変更することができる(先に登録した学位論文題目に変更がない場合も、改めて登録する) ・登録する学位論文題目は、論文PDFの題目と完全に一致させる ・題目の和訳または英訳も別途登録する
2022年6月23日(木)	2023年1月19日(木)	学位論文最終発表 会		学位論文 審査 委員会	プログラムは1週間前頃に周知予定。 現地開催の場合、社会人特別選抜で入学した学生は発表場所として春日または東京のいずれかを選択可。
2022年7月4日(月) 9:00-17:00	2023年1月30日(月) 9:00-17:00	(審査委員会で指摘 された場合のみ)学位 論文題目変更届 のPDFおよび修正論 文題目をmanabaに 提出・登録			論文審査委員会に指摘された場合のみ、学位論文題目変更届を提出し、manabaに修正論文題目を登録する。(題目の変更は抄録集・つくばリポジトリには反映されるが、正式な修士論文の題目としては反映されない)
2022年6月24日(金)9:00- 2022年7月7日(木)17:00	2023年1月20日(金)9:00- 2023年2月2日(木)17:00	学位論文及び概要 の修正			論文審査委員会からの指摘に基づいて学位論文と概要の修正を行い、指導教員からの確認を受け、manabaにPDFを提出する。論文審査委員会主査が必要と判断した場合は、論文の修正に合わせ、以下の書類を再度提出する。(詳細は手引きを参照すること) ・論文公正に関する確認書 ・倫理審査に関する報告書
2022年7月22日(金)	2023年2月17日(金)	学位論文審査結果 の審議及び課程修 了認定	学術院 運営委 員会		
2022年9月22日(木)	2023年3月24日(金)	学位記授与式			
2023年3月	2023年3月	抄録集を公開			
2023年9月	2024年3月	つくばリポジトリで公 開			

学位申請の手引

(情報学学位プログラム博士前期課程)

学位論文の審査（最終試験等を含む。以下「論文審査等」という。）の申請をする場合は、この手引に従って手続きを行う。

1 修士の学位

(1) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

筑波大学大学院学則及び関係規則に規定する博士前期課程の修了の要件を充足した上で、定められた知識・能力を有することが最終試験において認められた者に、修士（情報学）の学位を授与する。

(2) 論文審査等の申請要件

情報学学位プログラム博士前期課程（以下「博士前期課程」という。）に在学中の学生は、論文審査等を受けるために、次の要件をすべて満たしていなければならない。

- 1) 博士前期課程に2年以上在学した者又は在学見込みの者。（早期修了の適用を受けた者は1年間在学見込みの者。）
- 2) 博士前期課程の所定の科目について30単位以上修得した者又は修得見込みの者。
- 3) 学位論文中間発表会で発表を行い、論文審査の申請について、当該研究指導教員から承諾を得ており、学位論文題目届（情一修1）を提出した者。

* 中間発表会実施の要件

INFOSS の受講を完了していること。

* 早期修了の適用

優れた研究業績を上げた者は、1年間で早期修了が可能である。早期修了を希望する者は、入学前に大学院教務と研究指導教員に申し出る。研究指導教員から承諾を得たら、春A モジュール開始科目の履修登録期限1週間以内に「早期修了希望の届出書」を大学院教務へ提出する。その後、学術院において早期修了適用の可否を判断する。

所定の期限までに中間発表の実施、論文の採択、論文審査の申請等が行われなかった場合、通常の修了プロセスに移行する。

(3) 学位論文審査の申請

論文審査等を受けようとする者は、次に掲げる書類を添えて、指定された提出日に人間総合科学学術院長に審査を願い出る。

なお、学位論文の作成に当たっては、3ページ以降の「学位論文等の作成要領」に従う。

- ①学位論文審査願（情一修2）
- ②学位論文及び学位論文概要
- ③論文目録（情一修3）
- ④履歴書（情一修4）
- ⑤論文公正に関する確認書（情一修5または情一修5英）
- ⑥倫理審査に関する報告書（情一修6）
- ⑦学位論文の電子図書館システム(つくばリポジトリ)登録書

(4) 学位論文

学位論文は学位申請者による単著とし、日本語又は英語で書く。

* 共著の論文の内容を学位論文に含める場合は、共同研究者に許諾を得る。

(5) 学位審査の方法

学位論文審査委員会が、論文の内容、公開による学位論文発表会の内容、最終試験を総合的に審査する。

- 1) 学位論文ごとに設置される学位論文審査委員会は主研究指導教員、副研究指導教員と、情報学学位プログラム教育会議運営委員会が指名する博士前期課程担当教員の3人以上で構成される。
- 2) 公開の学位論文発表会は質疑応答を含めて30分程度とする。
- 3) 最終試験は、学位論文を中心に、その関連分野について口述又は筆記により行う。ただし、公開の学位論文発表会をもって、口述試験に代えることができるものとし、必要な場合は、更に口述試験又は筆記試験を行う。

(6) 学位授与

修士の学位は、博士前期課程に2年以上（早期修了の適用を受けた者は1年間）在学し、所定の科目について30単位以上修得し、かつ、論文審査等に合格した者に授与する。

(7) 学位論文および概要の公表

学位を授与された者の学位論文は、学位授与の1年後に「つくばリポジトリ」で公表される。また、学位論文概要は、学位授与後に情報学学位プログラム Web ページで公表される。

2 注意

(1) 論文公正に関する確認書について

論文提出者は、剽窃等の不正行為が無いことを確認する。また、研究指導教員の監督のもとで、論文剽窃チェックツール「iThenticate」による確認も行い、「論文公正に関する確認書」に論文提出者が署名して提出する。「iThenticate」以外のチェックツールは認めない。「iThenticate」は、論文提出者が単独で利用することはできない。

虚偽の申請、論文の盗作などが発覚した場合、論文審査等は中止となる。学位授与後に発覚した場合は、学位取り消しとなる。どちらも懲戒処分の対象となる。

(2) 論文の修正について

提出後に学位論文の修正を行う場合は、学位論文審査委員会の指摘に基づきながら、研究指導教員の指導・確認をうけて修正し、所定の期限までに再提出する。

修正後に再度、論文剽窃チェックツール「iThenticate」により確認し、「論文公正に関する確認書」を再提出する。（誤字等の軽微な変更の場合は再提出を要さない。再提出の必要性は、学位論文審査委員会主査が判断する。）

また、「倫理審査に関する報告書」も再提出する。（誤字等の軽微な変更の場合は再提出を要さない。再提出の必要性は、学位論文審査委員会主査が判断する。）

学位論文等の作成要領

論文審査等を願ひ出る者は、この作成要領に従って書類を作成する。

1 学位論文

1) 学位論文は、A4縦判とし、使用言語は日本語又は英語とする。

2) 学位論文の構成

学位論文は以下の構成とする（*は無くともよい）：

- ① 標題紙：標題紙の記載事項及び記載方法は、後述の「標題紙の作成要領」に従う。
- ② 学位論文概要
- ③ 目次
- ④ 図表の目次*
- ⑤ 本論（結論を含む）
- ⑥ 謝辞*
- ⑦ 文献リスト
- ⑧ 付録*

3) 倫理審査の承認を受けた内容を学位論文に含める場合は、本論の脚注等で承認を受けている旨を明記する。

（記載例）

Word の場合

～に関する利用者実験

脚注 {筑波大学図書館情報メディア系倫理審査通知（承認）番号 第 xx-xx} を行った。

Tex の場合

～に関する利用者実験

\footnote {筑波大学図書館情報メディア系倫理審査通知（承認）番号 第 xx-xx} を行った。

2 学位論文概要

学位論文概要は、後述の「学位論文概要の作成要領」に従う。なお、学位論文概要には参考文献を含めない。

・論文が日本語の場合：

概要には日本語題目と英語題目を書く。

氏名は TWINS に登録されている表記をアルファベットの表記とともに書く。

概要本文は日本語で書く。英語による概要本文もつけてよいが、英語のみは不可。

・論文が英語の場合：

概要には英語題目を書く。

氏名は TWINS に登録されているアルファベットの表記を書く。

概要本文は英語で書く。

3 PDFファイルの仕様

Adobe Acrobat によって作成する際の設定を以下に示す。他のソフトウェアによる場合は、これに準じた設定を行う。印刷時にプリンタのプロパティから Adobe PDF 設定を開く(図1)。

- PDF 設定：高品質印刷
- Adobe PDF セキュリティ：なし
- Adobe PDF のページサイズ：A4
- 文書情報を追加：オフ
- システムのフォントのみ使用し、文書のフォントを使用しない：オフ

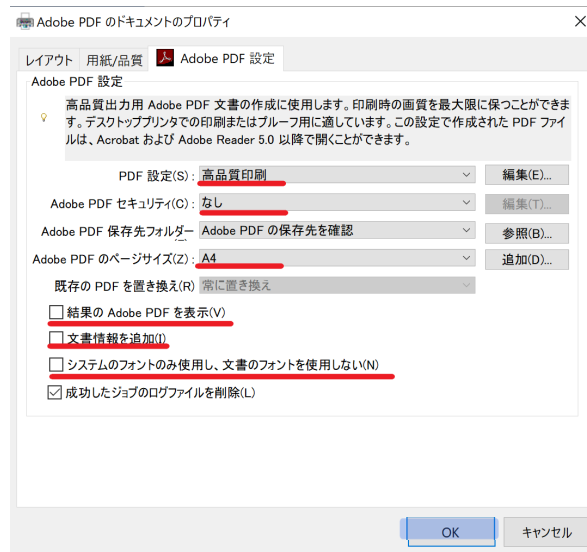


図1 プロパティ設定

標題紙の作成要領（論文が日本語の場合）

論文題目

(20 ポイント，中央揃え)

筑波大学

人間総合科学学術院人間総合科学研究群

情報学学位プログラム

20XX年X月

氏名

(16 ポイント，中央揃え，修了予定年月を表記，氏名は TWINS 登録の表記)

標題紙の作成要領（論文が英語の場合）

Title

(20 ポイント, 中央揃え)

Name

(16 ポイント, 中央揃え, 氏名は TWINS 登録の表記)

Master's Program in Informatics
Degree Programs in Comprehensive Human Sciences
Graduate School of Comprehensive Human Sciences
University of Tsukuba

Month YYYY

(16 ポイント, 中央揃え, 修了予定年月を表記)

学位論文概要の作成要領（論文が日本語の場合）

